

足立の犠牲者を救へ!!!

府下南葛飾郡吾嬭諸地足立製作所職工九十余名が一月六日工場を閉鎖せられ、爾來團結して復職交渉中、工場主足立泰治の横暴惨虐なる處置に憤慨し、一月十二日夜四十餘名は遂に全工場に闖入し、工場を破壊し全部騷擾の罪に問はれ、東京監獄に收監せられたるは、新聞紙の報ずる處によりて御承知の事と信す。抑も全工場は俗に鬼工場と稱せられ、労働條件は悪劣に職工の待遇は大正の今日に有り得べからざる苛酷惨虐を極め、工場主は常に之を誇りとして資本家の集會等に於て、自己工場の職工待遇法を廣告しつゝありたり。然るに大正九年十二月 中本組合員 泉 忠氏が全工場に入職するや盛んに職工の自覺を促し資本家が労働者を侮辱するは労働者間に組合團結なきが爲めなりと爲し組合組織の運動を爲したる爲め忽ち工場主の嗾怒を買ひ十二月二十九日何等の理由なく解雇を申渡されたり。越へて一月六日の始業日に至り職工は工場に出勤したるに兼て職工間の齟齬たる不平に恐を抱き居たる工場主は事業の都合上當分休業すると稱し工場を閉鎖し解雇を宣せり。依て職工等は委員を挙げ再三工場主に復職を迫れども斷乎として應ぜず。職工等は已むを得ず退職と決し再び委員を挙げて退職手當の請求を爲したるに横暴なる工場主は言下に「一文も出す能はず」と勿れ付けたり。職工等は此上は法廷に訴へて是非を決すべしとて一旦解散したれども工場主の横暴惨虐に對する鬱積せる憤激は抑へんとして抑ふる能はず期せずして全工場に集まり遂に工場主を殴打し工場機械を全部破壊し去るに至れり。

噫暴力は犯罪なりと今日の法律は言ふ。然れども労働者を追及壓迫し凡ての逃路を閉塞し労働者をして窮鼠猫を噛むを餘義なからしむる者は誰ぞ。東京監獄に送られたる四十餘名の同志は陰險なる資本家の陷阱に陥り最後の血路を開かんとして、誤て此慘劇を演じたるものである。全國工場 鑛山の労働者諸君。在監四十餘名の同志は全國労働階級の共通に懐く所の憤懣を最も力強く最も痛切に全社會に發表したる労働階級の恩人であり勇士である。吾等は之を見殺しにしてはならない。吾等の三度の食を二度に減じても此の勇士を救ふのが労働者の義務であり責任である。此嚴冬に可愛い妻子を残して東京監獄の冷い床上に横はる同志の身の上を憫べ。

金高はいくらでも。 大至急當聯合會及所屬組合支部へ

大正十年一月

- 日本労働總同盟友愛會 東京鐵工組合
- 日本労働總同盟友愛會 東京聯合會
- 本所區押上町一五五 組合 支部